

赤十字だより ぎふ

Red Cross Gifu

発行日 平成31年1月1日 vol.45

編集・発行



日本赤十字社 岐阜県支部
Japanese Red Cross Society

〒500-8601 岐阜市茜部中島 2-9
TEL 058-272-3561
<http://www.gifu.jrc.or.jp/>



赤十字の活動は、皆様からの社資で支えられています

あなたがいなければ、つukれないもの。

それはあなたがいなければ、つukれないもの。
涙も、笑顔にするもの。
いのちどころに届くもの。
いまこの国では、
20代20代の献血者が減少しています。
血ははまだ、
人工的につukることはできません。
献血へのご協力をお願いします。

生きる、のいつもそばに

はたちの献血

オリジナルグッズ
プレゼント

日本赤十字社 人間を救うのは、人間だ。

「はたちの献血」キャンペーンスタート！

寒さが厳しくなるこれからの季節は、風邪などの症状により体調を崩す方が多く、献血者が減少しがちです。安全な血液製剤を安定的に確保するため、1月1日（火）から2月28日（木）までの2か月間、新たに成人を迎える「はたち」の若い方を中心に、献血に関する理解と協力を呼びかけます。

広報キャラクターとして「乃木坂46」を起用し、特に400mL献血、成分献血の断続的な確保を目指して協力をお願いしてまいります。

CONTENTS

- 日本赤十字社岐阜県支部の活動を紹介します … 2
- 赤十字施設の活動を紹介します …………… 3
- 赤十字フェア作品コンクール …………… 4
- 赤十字講習会のご案内（1月～3月分） …………… 8
- 義援金・救援金の受付状況 …………… 8

日本赤十字社岐阜県支部の活動を紹介します

赤十字有功会研修旅行

10月23日(火)に有功会員や関係者が名古屋大学減災連携研究センター(名古屋市)と日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター(瀬戸市)を訪問し、「災害への備え」と「献血」について学びました。

減災連携センターでは、研究員から過去に起こった災害データを基に、この地域に起こり得る災害とその被害について学び、血液センターでは、採血から患者さんに届くまでを見学したほか、血液は人工では造ることができないため絶えず献血の協力が必要であることの説明を受けました。



平成30年度日本赤十字社第3ブロック支部合同救護訓練を実施

11月2日(金)・3日(土)、岐阜県支部主催で、東海北陸8県の日赤県支部合同で、大規模災害救護訓練を実施しました。11月2日(金)は、岐阜メモリアルセンター「で愛ドーム」、「ふれ愛ドーム」を会場とし、11月2日(金)未明に発生した大地震(濃尾震災をモデル)に対し、各県支部から、無線やインターネットの広域災害救急医療情報システム(EMIS)を利用し、被災した岐阜県支部へ応援職員や医療救護班を派遣。

岐阜県や岐阜市保健所と共働し、被害の大きい岐阜市北部の避難所や救護所に救護班を派遣するという想定。

- 訓練は、
- ①災害救護実施対策本部運営訓練(災害情報等を集約整理、指揮命令)
 - ②避難所巡回診療訓練(避難所情報の取得と避難者への健康支援)
 - ③救護所設置運用訓練(被災地に設置した応急救護所の運用)

の3つの実働訓練を各県合同で行いました。

ボランティアの方を含め、参加者総勢250名という大勢の方に参加いただきました。

11月3日(土)は、場所を市内のホテルに移し、訓練の検証とこれからの赤十字救護について、講演や発表を行い、中部地方で発生する大規模災害に備えるための情報共有をしました。



▲避難所訓練

▲救護所訓練

赤十字国際活動報告会を県庁で開催

日本赤十字社では、世界の赤十字と協力し、戦時救護や人道危機に対する支援活動を行っています。平成30年は岐阜県支部から「Bangladesh南部避難民救援」に医師と看護師を計4名、また「南スーダン紛争犠牲者救援」に医師1名の派遣を実施したことから、実際に派遣された職員から、副支部長である森岡岐阜県健康福祉部長へ報告を行いました。

報告会の参加者は以下のとおり

- 白子隆志(高山赤十字病院 副院長兼第一外科部長)
- 白子順子(高山赤十字病院 第一内科部長)
- 今井潤子(岐阜赤十字病院 看護師)
- 馬場 淳(高山赤十字病院 看護師)



▲左から白子順子医師、白子隆志医師、野中事務局長

- ※派遣一覧
- ・白子隆志(高山赤十字病院 副院長兼第一外科部長)
 - 派遣先① バングラディッシュ南部避難民救援
 - 派遣内容 フィンランド赤十字社が運営するフィールドホスピタルでの医療活動に従事
 - 派遣期間 平成30年6月9日(土)～7月4日(水)
 - 派遣先② 南スーダン共和国・首都ジュバ
 - 派遣内容 南スーダン共和国の医療施設等で、医療活動に従事
 - 派遣期間 平成30年8月3日(金)～10月2日(火)
 - ・白子順子(高山赤十字病院 第一内科部長)
 - 派遣先 バングラディッシュ南部避難民救援
 - 派遣内容 国際赤十字基礎保健ERU要員として医療救護活動に従事
 - 派遣期間 平成29年12月28日(木)～平成30年1月24日(水)

- ・今井潤子(岐阜赤十字病院 看護師)
 - 派遣先 バングラディッシュ南部避難民救援
 - 派遣内容 国際赤十字基礎保健ERU要員として医療救護活動に従事
 - 派遣期間 平成30年1月5日(金)～2月22日(木)
 - ・馬場 淳(高山赤十字病院 看護師)
 - 派遣先 バングラディッシュ南部避難民救援
 - 派遣内容 国際赤十字基礎保健ERU要員として医療救護活動に従事
 - 派遣期間 平成30年2月16日(金)～4月26日(木)
- ※ERU (Emergency Response Unit: 緊急対応ユニット)

赤十字施設の活動を紹介します

高山市市民健康まつりに参加しました(高山赤十字病院)

平成30年9月23日(日)高山市役所・高山市保健センターで開催された第29回市民健康まつりに参加し、「飛騨高山ピンクリボンウォーキング2018」を行いました。当日、スタッフはピンクのポロシャツ、サンバイザーを着用し、パンフレットを配布しながら「乳がんの早期発見・早期治療」を積極的にPRしました。その後、ウォーキングの先生とともに準備体操を行ったあと、さわやかな秋晴れの中、「桜山八幡宮」「宮川朝市」など高山の街なかを約3.5km歩き、乳がんの啓発活動を行いました。20代から70代まで約30名の方にご参加いただきました。



▲オリジナル缶バッジをつけて歩いていただきました



▲市役所内の様子

市民の方にとって、乳がんを身近に感じていただく良い機会となりました。

〒506-8550 高山市天満町3-11 電話:0577-32-1111(代表)

感染症防護服の着脱訓練を行って(岐阜赤十字病院)

岐阜赤十字病院は、県内唯一の第一種感染症指定医療機関ならびに、第二種感染症指定医療機関として岐阜県より指定を受けた病院です。県内において患者が発生した場合は、県内の病院において発熱外来等(専門外来)が開設され、入院が決定されると当院に搬送されてきます。患者の来院には専用の入口から入室するため、一般患者と交わることはなく、また、病室内の気圧は陰圧(外の空間よりも低く、病室の空気が外に流出しない設備)に管理され、病室で使用する水や排水においても一般病棟とは別の設備で管理しています。病室にはトイレやシャワーも完備され、また、患者と家族は直接面会ができないため、テレビ電話を整備し家族との面会も対応できるようになっています。

県内で一類感染症(エボラ出血熱等)や二類感染症(MERS等)が発生した場合に備え日々訓練を実施しており、11月9日(金)に当院において感染症防護服の着脱訓練を行いました。

参加者は2人1組になり、防護服やマスクなどの着用手順を丁寧に確認し、脱衣時は二次感染を防ぐため、防護服の表面は汚染していると考え、触れないようにし、患者と接触した面を内側に丸め込むよう注意しながら、脱衣し廃棄していきます。

また、実践に近い訓練とするために防護服を着用したまま、嘔吐物処理の訓練を行い、参加者からは「実際に防護服を着ることで、受け入れが行われる事態を想像しながら取り組めた」といった感想が聞かれました。



▲訓練の様子

〒502-8511 岐阜市岩倉町3-36 電話:058-231-2266(代表)

新岐阜献血ルーム「開設20周年キャンペーン」開催中!(岐阜県赤十字血液センター)

《平日限定》けんけつちゃんフォークプレゼント!

新岐阜献血ルームは、皆さまのおかげで開設から20周年を迎えることができました。

献血者の皆さまへの日頃の感謝の気持ちを込めて

「新岐阜献血ルーム開設20周年キャンペーン」を開催しています。

下記期間中の月～木曜日、新岐阜献血ルームで献血にご協力いただいた皆さまに「ステンレス製けんけつちゃんオリジナルフォーク」を1本進呈します。

この機会に、ぜひ献血にご協力をお願いします。

【開催期間】平成31年1月7日(月)～3月28日(木)

※金、土、日、祝日を除く平日限定。

※数量限定のため、なくなり次第終了となります。

【開催場所】岐阜県赤十字血液センター新岐阜献血ルーム

〒500-8175 岐阜市長住町2-3 岐阜ビル5F

TEL:058-264-2122(金曜日をのぞく10:30～18:00)

〒500-8269 岐阜市西部中島2-10 電話:058-272-6911(代表)



▲ホームページはこちらから!



広報イベントを開催しました

～平成30年度赤十字フェアぎふ～

今年も岐阜市(9/8～9)、高山市(9/23)、関市(10/14)、多治見市(10/27)、大垣市(11/11)の5会場で、赤十字の活動を地域の皆さまに知っていただく広報イベント「平成30年度赤十字フェアぎふ」を開催しました。

イベントでは、事業紹介パネルの展示、救護服や看護師の白衣を着ての「ちびっ子撮影会」や赤十字公式キャラクター風船の配布などを行い、多くの方にご来場いただきました。

大垣市会場(イオンタウン大垣)では、青少年赤十字加盟校から募集した作品コンクール(絵画の部・書写の部)表彰式を開催しました。表彰式には、53名が出席し、野中事務局長から受賞者に賞状が伝達されました。多くの保護者が見守る中、子どもたちは、緊張した面持ちで賞状を受け取っていました。

※青少年赤十字作品コンクール応募総数
(絵画の部:100点/書写の部:2,537点)



青少年赤十字作品コンクール 絵画の部 入賞作品



岐阜市立則武小学校 5年 松久 園



大垣市立多良小学校 6年 土方 悠衣奈



可児市立帷子小学校 5年 横田 美乙



池田こども園 年長 伊藤 楓芽



瑞穂市立穂積小学校 2年 渡邊 心結



可児市立帷子小学校 6年 中村 向日葵



可児市立帷子小学校 6年 大塚 愛里奈



養老町立池辺小学校 2年 山田 このの



池田町立池田小学校 3年 伊藤 桜雅



神戸町立北小学校 5年 片桐 唯希

絵画の部 優秀賞

池田こども園	年長	大面	叶真
養老町立上多度小学校	1年	森田	綾乃
高山市立国府小学校	1年	岡田	千紘
北方町立北方南小学校	2年	朝井	文香
海津市立吉里小学校	3年	高山	睦生
養老町立上多度小学校	5年	萱野	太誠
可児市立帷子小学校	5年	勝野	陽向
瑞穂市立牛牧小学校	6年	道場	るみな
大垣市立多良小学校	6年	水谷	東吾
可児市立帷子小学校	6年	池田	瑠奈

(敬称略)

青少年赤十字作品コンクール 書写の部 賞品 入作品

岐阜県知事賞

人道の精神

赤坂中 二年 河本 里奈

大垣市立赤坂中学校 2年 河本 里奈

岐阜県議会議長賞

国際親善

大垣市立江並中学校 3年 大橋 知莉

岐阜県教育委員会教育長賞

災害救護

各務原市立那加中学校 2年 丸毛 亜朱巴

岐阜県青少年赤十字賛助奉仕団委員長賞

奉仕活動

那加中二年 土屋 美結

各務原市立那加中学校 2年 土屋 美結

日本赤十字社岐阜県支部事務局長賞

人道の精神

穂積北中一年 浅野 純礼

瑞穂市立穂積北中学校 1年 浅野 純礼

高山赤十字病院院長賞

奉仕活動

高山西高校二年 額領 日菜

高山西高等学校 2年 額領 日菜

岐阜県赤十字血液センター所長賞

献血運動

海津明誠高校二年 戸田 真綾

岐阜県立海津明誠高等学校 2年 戸田 真綾

岐阜県青少年赤十字指導者協議会会長賞

平和

瑞穂南小四年 安田 里菜

瑞穂市立南小学校 4年 安田 里菜

岐阜県青少年赤十字指導者協議会会長賞

世界平和

西部一年 吉村 有加

大垣市立西部中学校 1年 吉村 有加

岐阜県青少年赤十字賛助奉仕団委員長賞

奉仕活動

興文中三年 横山 元

大垣市立興文中学校 3年 横山 元

高山赤十字病院院長賞

赤十字

国府小四年 河合 萌香

高山市立国府小学校 4年 河合 萌香

岐阜赤十字病院院長賞

健康 安全

大垣市立江東小学校 6年 中村 徳香

岐阜県赤十字有功会会長賞

強健

那加三小五年 米山 湧人

各務原市立那加第三小学校 5年 米山 湧人

岐阜県赤十字有功会会長賞

世界平和

島小六年 渡辺 一恵

岐阜市立島小学校 6年 渡辺 一恵

日本赤十字社岐阜県支部事務局長賞

防災

上多度小五年 梶間 春花

養老町立上多度小学校 5年 梶間 春花

岐阜赤十字病院院長賞

国際親善

星和中二年 浅野 真菜

大垣市立星和中学校 2年 浅野 真菜

岐阜県赤十字血液センター所長賞

博愛

大垣南小六年 高井 萌衣

大垣市立南小学校 6年 高井 萌衣

書写の部 優秀賞

岐阜市立長森北小学校	4年	長屋 志野
各務原市立鷺沼第二小学校	4年	若月 迦音
大垣市立江東小学校	4年	中村 匠
可児市立春里小学校	4年	伊藤 優那
岐阜聖徳学園大学附属小学校	4年	南谷 有咲
岐阜市立岩野田北小学校	5年	山田 杏奈
岐阜大学教育学部附属小学校	5年	井深 優晴
池田町立池田小学校	5年	國枝 史帆
土岐市立肥田小学校	5年	岩島 実来
各務原市立鷺沼第二小学校	6年	小谷 波菜乃
各務原市立各務小学校	6年	渡邊 凜
大垣市立興文小学校	6年	堀江 梁世
輪之内町立仁木小学校	6年	岡田 修瑛
可児市立春里小学校	6年	佐藤 厘
岐阜県立岐阜聖徳学園小学校	6年	丹羽 彩花
岐阜市立島中学校	1年	高橋 菜々花
羽島市立羽島中学校	1年	吉田 風沙
大垣市立赤坂中学校	1年	山田 健太
大垣市立西部中学校	1年	松浦 友紀
大野町立大野中学校	1年	林 怜奈
美濃加茂市立西中学校	1年	今瀬 結愛
羽島市立羽島中学校	2年	岩田 萌衣
大垣市立興文中学校	2年	富田 紗有実
大垣市立江並中学校	2年	中村 愛結
垂井町立不破中学校	2年	アリソン ジェニファー
安八町立登龍中学校	2年	辻 えみり
安八町立登龍中学校	2年	戸田 捺希
可児市御嵩町中学校組合立共和中学校	2年	山田 心大
瑞浪市立釜戸中学校	2年	小栗 千廣
高山市立国府中学校	2年	岩村 芽依
岐阜市立島中学校	3年	林 沙希
羽島市立羽島中学校	3年	内藤 彩乃
羽島市立竹鼻中学校	3年	大野 智加
瑞穂市立嶺南中学校	3年	川田 稜真
大垣市立西部中学校	3年	中嶋 萌
大垣市立星和中学校	3年	杉野 紗世
聖マリア女学院中学校	3年	山田 彩心

(敬称略)

羽島郡トレセン「第2回子ども防災デイキャンプ」を開催しました！

10月10日(水)に笠松町体育館で羽島郡子ども防災デイキャンプの2回目を実施いたしました。羽島郡内の小学校1年生から中学校1年生の40人が参加しました。

子どもたちは、協力して「つみっく」でひみつきちを作って遊び、子どもでも運べて組み立てられ、飛んだり跳ねたりしても頑丈な「つみっく」を体感しました。NPO法人つみっくくらぶ(兵庫県)のスタッフからは、神戸の震災のときの体験や災害時の避難所の様子、減災への国内の取り組みなどの話を聞きました。

突然、緊急地震速報が放送で流れ、子どもも大人もとっさの地震に対応する訓練「シェイクアウト」もありました。その後、青少年赤十字防災教育プログラムのワークシートで「教室内の危険な場所」を確認しグループで話し合いました。

「つみっく」:間伐材で作られたブロックで、耐震強度に優れ、組み立てるのも簡単な大きなブロックです。東日本大震災や熊本地震の避難所の仕切りとして使われました。



▲「つみっく」で秘密基地作り

◆ 赤十字講習会のご案内 [平成31年1月～3月版]

講習の種類	開催日	会場
救急法基礎講習	2月10日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
救急法救急員養成講習	2月17日(日)・24日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
救急法救急員資格継続研修	1月27日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
	3月10日(日)	
幼児安全法支援員資格継続研修	2月14日(木)	高山赤十字病院 3階大講堂
	2月26日(火)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
健康生活支援講習支援員養成講習	2月18日(月)・19日(火)・25日(月)	岐阜赤十字病院 南館2階講堂
	2月20日(水)・21日(木)・28日(木)	高山赤十字介護老人保健施設はなさと4階会議室
健康生活支援講習支援員資格継続研修	2月13日(水)	高山赤十字介護老人保健施設はなさと4階会議室
	2月22日(金)	日本赤十字社岐阜県支部 2階中会議室
災害時高齢者生活支援講習(短期)	1月23日(水)	日本赤十字社岐阜県支部 2階中会議室
ところどころの架け橋講習(短期)	1月24日(木)	日本赤十字社岐阜県支部 2階中会議室

※講習の一部を掲載しています。詳細及び申込方法は、日本赤十字社岐阜県支部ホームページをご覧ください。

※詳しい内容については、事業推進課までお問い合わせください。

◆ 海外支援のための募金活動を実施 ～NHK海外たすけあい募金キャンペーン～

世界には、ハリケーンや地震による自然災害で被災した人々だけでなく、紛争により祖国を離れなければならない人々、保健衛生の弱体により感染症に悩まされる人々など、様々な理由により命の危機に晒され、支援を必要としている人々がたくさんいます。

今年も12月1日(土)～12月25日(火)の間、日本放送局(NHK)と共催して募金キャンペーンを実施しました。

受付業務 NHK岐阜放送局 岐阜市赤十字奉仕団

街頭募金 JR岐阜駅 岐阜県立岐阜総合学園高等学校 12月1日(土)実施
岐阜県立岐阜農林高等学校 12月15日(土)実施



多くの皆さまにご協力いただき、誠にありがとうございました。

◆ 義援金・救援金の受付状況 (平成30年11月30日現在)

義援金名	受付期間	受付金額
東日本大震災義援金	平成23年 3月14日～平成31年 3月31日	2,092,873,440
平成28年熊本地震災害義援金	平成28年 4月15日～平成31年 3月31日	204,418,337
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	平成29年 7月 7日～平成31年 3月29日	16,547,039
平成30年大阪府北部地震災害義援金	平成30年 6月22日～平成30年 9月28日※終了	556,436
平成30年米原市竜巻災害義援金	平成30年 7月 6日～平成30年 9月28日※終了	286,677
平成30年7月豪雨災害義援金(広域)	平成30年 7月10日～平成31年 6月28日	20,398,722
平成30年7月豪雨災害義援金(県内)	平成30年 7月11日～平成30年 9月28日※終了	188,920,877
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	平成30年 9月11日～平成31年 3月31日	8,863,429
中東人道危機救援金	平成27年 4月 1日～平成31年 3月31日	103,640
バングラディッシュ南部避難救援金	平成29年 9月22日～平成31年 3月31日	73,669
2018年インドネシア・ロンボク島地震救援金	平成30年 8月22日～平成30年11月30日※終了	72,442
2018年インドネシア・スラウェシ島地震救援金	平成30年10月 3日～平成30年11月30日※終了	77,136

※義援金・救援金については、受付開始から平成30年11月30日入金分までの合計となっています。